一般社団法人　ひとよし球磨青年会議所

2020 年度　主な出来事

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は一般社団法人ひとよし球磨青年会議所の運動、活動に対して格別なるご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により、社会的、経済的な危機を引き起こし、私たちの生活に暗い影を落としています。さらに、令和2年7月豪雨により、コロナ禍で苦境にある人吉球磨地域は、甚大な洪水被害を受けました。また、メンバーの半数以上が被災し、コロナ禍における洪水被害という、当青年会議所設立以来最大の危機的状況に陥りました。

そのような状況の中にあっても、私たちひとよし球磨青年会議所は、「明るい豊かな社会の実現」というJC運動の目的に今一度立ち返り、コロナ禍によって今までの価値観が変わりつつある時代に向き合い、より良い人吉球磨地域の実現に向けて運動を続けていきます。

さて、本年度は、『希望～人吉球磨地域の復興を力強く進めよう～』を基本理念に掲げ、JC 運動を展開してまいります。具体的には、令和2年7月豪雨において、人吉市社会福祉協議会との協定に基づく当青年会議所の人吉市ボランティアセンターの運営支援等の災害対応の経験の次代への継承や被災者の支援を行ってまいります。そして、昨年は令和2年7月豪雨により、10年以上継続してきた相良藩子ども塾が中止に追い込まれましたが、本年度は、コロナ禍における新たな手法を模索しながら、相良藩子ども塾を開催します。また、当青年会議所のメンバーが人吉球磨地域のリーダーとして復興や地域づくりに寄与できるように、会員育成にも力を入れていきます。そして、時代の風を取り入れながら組織を進化させ、会員候補者が入会しやすい環境を整え、次代に繋ぐ組織を作ってまいります。

むすびに、令和2年7月豪雨により、当青年会議所のメンバーの半数以上が被災しましたが、皆様から当青年会議所及びメンバーに対して多大なるご支援ご協力賜りましたこと深く御礼を申し上げますとともに、2021年が皆様にとりましてより良い年になることをご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

直前理事長
西　拓也

ご挨拶

拝啓　時下ますますご清祥のことと存じます。

このたびは、令和２年７月４日未明に熊本県を中心に発生した集中豪雨被害に際し、多数の支援物資等をお心寄せいただき、一般社団法人ひとよし球磨青年会議所を代表いたしまして心よりお礼を申し上げます。

令和２年７月豪雨災害では、今までに経験したことのない降水量に見舞われ、人吉球磨地域のシンボル的な存在でもある球磨川が荒れ狂う濁流となり、大規模な河川の氾濫が多数発生し多くの尊い人命が失われました。また、家屋の水害被害はもとより、道路等をはじめとする公共施設や鉄道の損壊など甚大な被害が発生いたしました。

私たちひとよし球磨青年会議所は、発災当初より各団体との協定に基づきボランティアセンターの設立協力や、被災状況の収集および支援物資受入れを行って参りました。また、皆様よりお心寄せいただいた支援物資等は、被災された方々の日常生活を少しでも早く再建するために避難所や各地域への配布をさせていただきました。また、皆様より戴いた多くの励ましのお言葉や激励などは、人吉球磨地域の皆様へお伝えするとともに、止まる事なく動き続ける青年会議所活動・運動への活力の源へとつなげさせていただきました。

今後とも、行政や諸団体との連携を取りながら、一日でも早く人吉球磨地域が復興の兆しを感じ更なる発展へと導いていく団体として運動を継続してまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第63代理事長
中嶽　修平

2021年度
1. 基本理念

希望
～人吉球磨地域の復興を力強く進めよう～

2. 運営方針

一. 災害の記憶を次代へ遺す地域づくり
二. メンバー一丸となって取組むJC運動の発信と会員拡大
三. 故郷を誇れる青少年の育成
四. 人吉球磨をリードする人材の育成
五. 持続可能な進化を遂げる組織運営

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
平素は一般社団法人ひとよし球磨青年会議所の運動、活動に対して格別なるご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により、社会的、経済的な危機を引き起こし、私たちの生活に暗い影を落としています。さらに、令和２年７月豪雨により、コロナ禍で苦境にある人吉球磨地域は、甚大な洪水被害を受けました。また、メンバーの半数以上が被災し、コロナ禍における洪水被害という、当青年会議所設立以来最大の危機的状況に陥りました。

そのような状況の中にあっても、私たちひとよし球磨青年会議所は、「明るい豊かな社会の実現」というＪＣ運動の目的に今一度立ち返り、コロナ禍によって今までの価値観が変わりつつある時代に向き合い、より良い人吉球磨地域の実現に向けて運動を続けていきます。

さて、本年度は、『希望～人吉球磨地域の復興を力強く進めよう～』を基本理念に掲げ、JC 運動を展開してまいります。具体的には、令和２年７月豪雨において、人吉市社会福祉協議会との協定に基づく当青年会議所の人吉市ボランティアセンターの運営支援等の災害対応の経験の次代への継承や被災者の支援を行ってまいります。そして、昨年は令和２年７月豪雨により、１０年以上継続してきた相良藩子ども塾が中止に追い込まれましたが、本年度は、コロナ禍における新たな手法を模索しながら、相良藩子ども塾を開催します。また、当青年会議所のメンバーが人吉球磨地域のリーダーとして復興や地域づくりに寄与できるように、会員育成にも力を入れていきます。そして、時代の風を取り入れながら組織を進化させ、会員候補者が入会しやすい環境を整え、次代に繋ぐ組織を作ってまいります。

むすびに、令和２年７月豪雨により、当青年会議所のメンバーの半数以上が被災しましたが、皆様から当青年会議所及びメンバーに対して多大なるご支援ご協力賜りましたこと深く御礼を申し上げますとともに、２０２１年が皆様にとりましてより良い年になることをご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

2020年度事業

1月通常総会

1月度例会「通常総会」では、2019年度の決算書・活動内容についてメンバーに説明し審議を図り、2020年度の年間事業計画を共有し知っていただくことで参加意識の醸成を図りました。活動報告では動画を用いて1年を振り返っていただいた後に決算書の報告を行い、各委員長の年間事業計画発表時には、今まで口頭での説明のみだったものを、新たにパワーポイントを活用した発表方法に変更することで、メンバーにより解りやすい運営を行いました。そして、2019 年度の事業報告、収支決算報告、2020 年度の理事長所信が無事可決承認されました。

さらに、2020 年度の事業計画を各委員長が、それぞれに自分の想いをプレゼンされ、メンバー一丸となって 2020 年度、西拓也理事長の掲げられたスローガン「自他共栄～地域を巻き込む行動力～」の元、JC 運動、活動に邁進して行こうと一致団結しました。

2 月例会　銀行× JC

新年賀詞交換会、南大邱 JC 訪問

人吉市長をはじめとする各界各層のご来賓の方々、シニアクラブの先輩方、他地方の青年会議所メンバーにもご来会頂き、新年賀詞交換会を開催いたしました。

また、今年で姉妹締結42年を迎える南大邱青年会議所メンバーも多数、来日してくださり、イ・スンファン会長のご挨拶を聞き、JCで培ってきた絆は本当に素晴らしいと感じました。

最近の日韓関係の複雑な関係も厭わない。むしろ、ひとよし球磨青年会議所との深い絆を、より固めたい!また人吉に旅行に来ます!といった熱い友情について語り合いました。

日本青年会議所で SDG sを推進しており、そのうちの運動のひとつとして、食べ残しや飲み残しを防止しようと考慮し、会場では食事の時間を設ける工夫を行いました。

3 月お茶会

災害後の8月例会

JCI 倉敷との被災地球磨村復興支援

コロナ過による WEB 例会の様子

ひとよし球磨青年会議所初の Zoom 例会。Zoom 会議を何度も行っている事もあり、とてもスムーズな進行でした。新型コロナウイルスの影響もあり、事業内容の変更等もありましたが、地域に対して、ひとよし球磨青年会議所それぞれの役割を再確認する機会となりました。

2020 年卒業式、望年会

７月豪雨災害復興活動

今回の集中豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方に対し、お悔やみ申し上げます。

７月の豪雨災害により、私たちひとよし球磨青年会議所も多くのメンバーが被災しました。

メンバーの自宅、会社の片付け等の協力はもちろんのこと、地域でお困りの方々もいらっしゃることを考え、人吉市社会福祉協議会と連携し、早急な災害ボランティアセンター発足に向けて尽力いたしました。

７月 10 日には東間コミュニティセンター及び川上記念球場を拠点とした災害ボランティアセンター立ち上げることができました。

コロナ対策も行いながらの運営となり、初めは県内のみのボランティア募集、人吉市・球磨村の合同で設置となりました。

球磨村サクラドームにて、熊本青年会議所さんに炊き出しをおこなって頂きました。

私達もお手伝いに参加し、多くの方に温かいご飯を食べて頂くことができました。また、JCI 榛南様より防塵マスクやゴーグルなど復旧に向けた長期戦で活躍する物資をとどけていただきました。責任を持って必要な方々に届けていきたいと思います。

当 LOM の活動地域である熊本県人吉市と JCI 榛南様の活動地域である静岡県牧之原市は相良氏の縁もあり友好都市であるとともに、災害応援協定を結んでいます。

さらに、JCI 熊本様には夏野菜カレー、JCI 福岡様には球磨村せせらぎにてラーメンの炊き出しをしていただきました。

また、JCI 阿蘇様には物資の搬入と、球磨村せせらぎにてカレーとお弁当の炊き出しをして頂きました。

熊本ブロック協議会より噴霧機を届けていただき、JCI 東熊本より人的支援、JCI 玉名からもボラセンの資機材担当のお手伝いをして頂きました。

そして、JCI 福岡の出田理事長はじめ 10 名の方が球磨村高齢者生活福祉センターせせらぎにて炊き出し支援をしてくださいました。

連日の皆様のご支援心より感謝申し上げます!

希望

～人吉球磨地域の復興を力強く進めよう～

Junior Chamber International Japan

一般社団法人　ひとよし球磨青年会議所

〒868-0037　熊本県人吉市南泉田町 3-3　人吉商工会議所内
TEL：0966-22-6888 ／ FAX：0966-24-9551

令和３年　　月　　日 発行